

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年2月28日(2013.2.28)

【公開番号】特開2010-252326(P2010-252326A)

【公開日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-044

【出願番号】特願2010-89089(P2010-89089)

【国際特許分類】

H 04 L 27/22 (2006.01)

H 04 L 7/00 (2006.01)

H 04 L 27/38 (2006.01)

【F I】

H 04 L 27/22 Z

H 04 L 7/00 F

H 04 L 27/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月16日(2013.1.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

信号ストリームから複数のサンプルをバッファリングする工程と、
バッファリングしたサンプルに遷移があるかをスキャンする工程と、
遷移が検出された時点でゼロ交差ヒストグラムバッファを更新する工程と、
更新済みのゼロ交差ヒストグラムバッファから少なくとも2つのピークを同時に検出する
工程と、
検出したピークから少なくとも2つの境界を確定する工程と、
これら境界の間のバッファリングしたサンプルを積分する工程と、
積分したサンプルから同期させたビットストリームからなる出力信号を作成する工程と、
を含むビット同期方法。

【請求項2】

サンプルのバッファリングは先入れ先出し(FIFO)操作を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

ゼロ交差ヒストグラムバッファを更新する前記工程はゼロ交差ヒストグラムバッファ内の
値をインクリメントする工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

ゼロ交差ヒストグラムバッファを更新する前記工程はさらに、遷移の検出時にゼロ交差ヒ
ストグラム内のカウントにある減衰定数を乗算する工程を含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

2つのピークを同時に検出することによってビット時間間隔を画定する工程をさらに含む
請求項1に記載の方法。

【請求項6】

入力信号ストリームからのサンプルを保存するためのフレームバッファと、
信号ストリーム内で遷移を検出するためのスキャナと、

遷移の数及び位置をトラッキングするための算術論理ユニット及び加算器と、位置に従って遷移数に比例した値を保存するためのゼロ交差ヒストグラムバッファと、ゼロ交差ヒストグラムバッファ内のピークを検出するためのピーク検出器と、検出したピークから境界を画定するためのマーカと、境界間のフレームバッファサンプルを積分するための積分器と、積分したサンプルから同期させた出力ビットストリームを作成するための比較器と、を備えるビット同期のためのシステム。

【請求項 7】

前記スキャナ、算術論理ユニット及び加算器は複数のサンプルに対して並列に動作する、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記ピーク検出器は少なくとも 2 つのピークを同時に検出するように構成されている、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記比較器は積分したサンプルをしきい値と比較するように構成されている、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 10】

減衰定数をゼロ交差ヒストグラム内の値と乗算するための乗算器をさらに備える請求項 6 に記載のシステム。